

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社  
〒100-6432  
東京都千代田区丸の内2丁目7番3号東京ビルディング

## プレスリリース

報道機関 各位

# JPモルガン・アセット・マネジメント 「JPM・VISTA・オープン」募集開始 — ポストBRICsと期待される有力新興国の株式に投資 —

[東京 2012年11月1日]

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(所在地:東京都千代田区、社長:猪股伸晃)は、「JPM・VISTA・オープン」の募集を本日より開始すると発表しました。当ファンドは、当初申込期間を11月1日から11月15日、設定日を11月16日とし、本日時点の販売会社はPWM日本証券株式会社、株式会社SBI証券となっています。

「JPM・VISTA・オープン」は、VISTA諸国(ベトナム、インドネシア、南アフリカ、トルコ、アルゼンチン)の株式等に投資を行います。当ファンドは、次世代の有力新興国であるVISTA諸国の株式等を実質的な主要投資対象として運用を行うことで収益を追求するファンドであり、為替ヘッジは行いません。

当ファンドは、VISTA諸国についてそれぞれ1~50%の範囲で国別基本資産配分比率を定め、原則としてその比率に従った投資を行います\*1。設定当初の国別基本資産配分比率は、ベトナム5%、インドネシア25%、南アフリカ35%、トルコ30%、アルゼンチン5%となる予定です。

### 地理的にも分散された次世代の有力新興国・VISTAの成長を享受

VISTA(ビスタ)とは、ベトナム、インドネシア、南アフリカ、トルコ、アルゼンチンの英語の頭文字をつないだ造語であり、BRICs経済研究所が提唱しました。5ヵ国とも、新興国の成長を支えられ5つの成長エンジン(①豊富な天然資源、②労働力の増加、③個人消費の伸び、④外資の導入、⑤政情の安定)のうち、4つ以上を備えている有力新興国として成長が期待されており、地理的にも広く分散されているため、投資対象として目が離せない存在となっていると考えられます。

VISTAの最大の魅力のひとつである経済の成長スピードは、新興国のなかでも注目の高いBRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)をも大きく上回ると予想され\*2、また、今後も持続的な成長が期待されています。

高い経済成長を背景として、VISTA諸国の企業の利益は増益基調となることが予想されており\*3、株価の上昇が期待されます。「JPM・VISTA・オープン」は、このように株価上昇が期待されるVISTA諸国の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

### 運用体制

「JPM・VISTA・オープン」は、「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループにおいて、40年以上にわたる新興国株式運用の経験を有するグローバル・エマージング・マーケット株式運用グループが運用を行います。同グループが「JPM・VISTA・オープン」と同様の運用戦略、運用プロセスにより運用している「JPM・VISTA5・ファンド」は、「モーニングスターアワード ファンド オブ ザ イヤー2010」国際株式型部門で優秀ファンド賞を受賞するなど、良好な運用成績が外部機関からも評価されています。こうした実績を誇る経験豊富なチームが、「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループのグローバル・リソースを最大限活用して、当ファンドの運用に尽力してまいります。

\*<sup>1</sup> 市場の見通しに応じ、±15%の範囲内で、国毎の資産配分比率を変動させることがあります。ただし、1カ国への資産配分比率は必ず1%以上とします。

\*<sup>2</sup> 出所:ゴールドマン・サックス、BRICs 経済研究所

\*<sup>3</sup> 出所:モルガン・スタンレー、ブルームバーグ

(ファンドの概要については、添付の商品概要をご参照下さい)

\* \* \*

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社は、日本市場に最も早く進出した外資系資産運用会社のひとつです。日本の金融業界の規制緩和と共に1987年に投資一任契約業務の認可取得、外資系資産運用会社の第一陣として、1990年に投資信託委託会社を設立し、また公的年金基金の運用委託など業界の先駆けとなっています。投資家の多様化するニーズに対応すべく、株式、債券、転換社債、オルタナティブ投資等、あらゆる資産クラスにおいて卓越した運用能力を発揮し、リーディングカンパニーならではの資産運用サービスを提供します。

「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループはJPモルガン・チェース・アンド・カンパニー傘下の資産運用部門です。国際的な資産運用の分野で140年以上にわたる実績があり、運用総資産残高約1兆3,815億米ドル(約113兆円)\*を有する世界最大規模の資産運用サービスグループです。世界41拠点にネットワークを持ち、日本ではJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社を通じて顧客にサービスを提供しています。

JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー(NYSE: JPM)は、世界60カ国以上\*\*に拠点をもち、総資産2.3兆ドル\*\*を有する世界有数の金融サービス会社です。投資銀行業務、個人向け金融サービス、中小企業向け銀行業務、コマーシャル・バンキング業務、金融取引管理事務業務、資産運用業務、プライベート・エクイティ業務において業界をリードしています。JPモルガン・チェースは、ダウ・ジョーンズ工業株平均の構成銘柄として採用されており、法人向けの「J.P.モルガン」、および個人向けの「チェース」のブランドの下で、世界有数の事業法人・機関投資家・政府機関、並びに米国の個人のお客様に金融サービスを提供しています。JPモルガン・チェースの情報は[www.jporganchase.com](http://www.jporganchase.com)にてご覧いただけます。

数値は2012年3月末現在

\*1米ドル= 82.30円で換算

\*\*2012年9月末現在

Morningstar Award “Fund of the Year 2010”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2010年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型部門は、2010年12月末において運用期間1年以上の当該部門に属するファンド557本の中から選考されました。

## 商品概要

ファンド名	JPM・VISTA・オープン
商品分類	追加型投信／海外／株式
ファンドの目的	VISTA(ピスタ) 諸国の株式等を実質的な主要投資対象として運用を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。
為替ヘッジ	為替ヘッジは行いません。
ベンチマーク	ありません。
運用の外部委託先	JPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッド(英国法人)に運用を委託します。
購入価額	当初申込期間:1口当たり1円とします。 継続申込期間:購入申込日の翌営業日の基準価額とします。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額とします。換金時に手数料はかかりません。
申込受付中止日	以下の取引所のうち委託会社が別途指定する取引所の休業日には、購入・換金申込みの受付を行いません。 ●ホーチミン証券取引所 ●インドネシア証券取引所 ●ヨハネスブルグ証券取引所 ●イスタンブール証券取引所 ●ブエノスアイレス証券取引所 ●ニューヨーク証券取引所 ファンド設定当初、委託会社はヨハネスブルグ証券取引所およびイスタンブール証券取引所を指定する予定ですので、両取引所のいずれかの休業日には、購入・換金申込みの受付は行いません。 申込受付中止日については販売会社にお問い合わせください。
購入の申込期間	当初申込期間:2012年11月1日から2012年11月15日までとします。 継続申込期間:2012年11月16日から2013年6月27日までとします。 継続申込期間は、その満了前に有価証券届出書を提出することによって更新される予定です。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	以下の事情により基準価額が確定できない場合は、購入・換金申込みの受付を中止することがあり、また既に受け付けられた購入・換金申込みの取消しができることがあります。 ・有価証券取引市場における取引の停止 ・外国為替取引の停止 ・その他やむを得ない事情
設定日	2012年11月16日
信託期間	2012年11月16日から2022年11月15日(休業日の場合は翌営業日)まで
決算日	毎年3月29日(休業日の場合は翌営業日)です。 毎年1回の決算時に委託会社が分配額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
購入時手数料	手数料率は3.15%(税抜3.0%)を上限とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	かかりません。
運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対して年率1.995%(税抜1.90%)がかかります。
販売会社(2012年11月1日時点)	PWM日本証券株式会社、株式会社SBI証券

**本資料に掲載されている当社各ファンドのご投資の際のリスクについて**

JPM・VISTA・オープン、JPM・VISTA5・ファンド(以下、「両ファンド」または「ファンド」といいます。)は、外国の株式を主な主要対象とし、また、その他の外貨建資産を保有することがありますので、株式市場、為替相場、その他の市場における価格の変動により、保有している株式等の円換算した価格が下落した場合、損失を被る恐れがあります。

**ご注意していただきたい事項について(両ファンド共通)**

- ホーチミン証券取引所、インドネシア証券取引所、ヨハネスブルグ証券取引所、イスタンブール証券取引所、ブエノスアイレス証券取引所、ニューヨーク証券取引所のうち、委託会社が別途指定するもの(平成24年11月16日現在、ヨハネスブルグ証券取引所およびイスタンブール証券取引所の予定)のいずれかの休業日には、購入・換金の申込受付は行いません。

**ファンドの主なリスク(両ファンド共通)**

ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。投資信託は元本保証のない金融商品です。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、主にVISTA諸国の株式等に投資しますので、以下のような要因の影響により基準価額が変動し、下落した場合は、損失を被ることがあります。下記は、ファンドにおける基準価額の変動要因のすべてではなく、他の要因も影響することがあります。

- 株価変動リスク  
株式の価格は、政治・経済情勢、発行会社の業績・財務状況の変化、市場における需給・流動性による影響を受け、変動することがあります。
- 為替変動リスク  
ファンドは、為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動により投資資産の価値が変動します。
- カントリーリスク  
VISTA諸国は新興国であることから以下のようなリスクがあり、その影響を受け投資資産の価値が変動する可能性があります。
  - ・先進国と比較して一般的に政治、経済、社会情勢等が不安定・脆弱な面があり、株式や通貨の価格に大きく影響する可能性があります。
  - ・株式・通貨市場の規模が小さく流動性が低いため、株式・通貨の価格変動が大きくなる場合があります。
  - ・先進国と比較して法規制の制度や社会基盤が未整備で、情報開示の基準や証券決済の仕組みが異なること、政府当局による一方的な規制導入もあることから、予期しない運用上の制約を受けることがあります。
  - ・税制が先進国と異なる面がある場合や、一方的な税制の変更や新税制の適用がある場合があります。

**ファンドの諸費用について(両ファンド共通)**

**直接的に負担する費用**

- ◎購入時手数料  
手数料率は3.15%(税抜3.0%)を上限とします。  
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
(購入時手数料=購入価額×購入口数×手数料率(税込))
- ◎信託財産留保額  
かかりません。

**信託財産で間接的に負担する費用**

- ◎運用管理費用(信託報酬) 純資産総額に対して年率1.995%(税抜1.9%)
- ◎その他費用・手数料
  - ・有価証券の取引等にかかる費用\*
  - ・外貨建資産の保管費用\*
  - ・信託財産に関する租税\*
  - ・信託事務の処理に関する諸費用、その他ファンドの運用上必要な費用\*
  - ・JPM・VISTA・オープンについては、目論見書の印刷に要する費用\*につき、原則としてその実費相当額について、信託財産に日々計上します。
  - ・純資産総額に対して年率0.021%(税抜0.02%)をファンド監査費用とみなします。ただし、年間315万円(税抜300万円)を上限とします。

\* ファンドの運用状況、保有銘柄、投資比率等により変動し、また銘柄ごとに種類、金額および計算方法が異なりその概要を適切に記載することが困難なことから、具体的に記載しておりません。また、JPM・VISTA・オープンにおける目論見書の印刷に要する実費相当額は、実際にかかる費用が目論見書ごとに異なることから、具体的に記載しておりません。さらに、その合計額は、受益者がファンドの受益権を保有する期間その他の要因により変動し、表示することができないことから、記載しておりません。

費用等の合計額は、ファンドの保有期間等により変動し、表示することができないことから、記載しておりません。

**詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

本資料はJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(以下、「当社」という。)が作成したものです。当社は信頼性が高いとみなす情報等に基づいて本資料を作成しておりますが、当該情報が正確であることを保証するものではなく、当社は、本資料に記載された情報を使用することによりお客さまが投資運用を行った結果被った損害を補償いたしません。本資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。また、当該意見・見通しは将来予告なしに変更されることがあります。本資料は、当社が設定・運用する投資信託について説明するものであり、その他の有価証券の勧誘を目的とするものではありません。また、当社が当該投資信託の販売会社として直接説明するために作成したものではありません。

投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負います。過去の運用成績は将来の運用成果を保証するものではありません。投資信託は預金ではありません。投資信託は、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託を証券会社(第一種金融商品取引業者を指します。)以外でご購入いただいた場合、投資者保護基金の保護の対象ではありません。投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。取得のお申し込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので必ずお受け取りの上、内容をご確認下さい。最終的な投資判断は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

◆投資信託委託会社

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第330号

加入協会: 日本証券業協会、社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

目論見書の入手先は、こちらでご確認いただけます。 [www.jpmorganasset.co.jp](http://www.jpmorganasset.co.jp)